

聴力検査の方法 (保護者が行う絵シートによるささやき声検査)

耳はお子さんの言葉や知能の発達にとっても大切な働きをしています。生まれつき聞こえが悪かったり、耳の病気で難聴になったりすると、たとえその程度は軽くても、お子さんにとっては後々大きな影響を与えることにもなりかねません。下記の方法で検査を行ない、結果を3歳児健康診査票に記入して下さい。
※検査に必要な絵シートは同封の「3歳児健康診査の尿検査を受ける保護者の皆様へ」の裏面にあります。

(検査の方法)

1. 絵をお子さんの方に向けて置き、1m位離れて向かい合って座ります。
2. 「この絵の名前を言うから、お母(父)さんが言った絵を指さしてね」とお子さんに伝え、普通の声(会話する時の声)で絵シートに表示されている絵の名前を言い、お子さんが6個の絵すべてを正しく指さしできるようにします。
3. 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて指さしてね」とお子さんに伝え、口元を手などで隠し、6個の絵の名前をささやき声(下記参照)で1回ずつ言い、正しく指さしできれば3歳児健康診査票の表に○、正しく指さしできなければ×を記入して下さい。



(検査の注意事項)

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくならないように注意してください。

(“ささやき声”の出し方)

ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声はのど(のどぼとけ)に手をあてた時、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じられません。この状態が“ささやき声”です。

